



2023年5月23日

各 位

会社名 株式会社フーディソン  
代表者名 代表取締役 CEO 山本 徹  
(コード：7114 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役CFO 兼 経営管理部長 内藤 直樹  
(TEL：050-1754-1990)

## (訂正)「2023年3月期 決算説明資料」の一部訂正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表しました「2023年3月期 決算説明資料」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 訂正の理由

2023年5月15日に公表しました「2023年3月期 決算説明資料」のうち、19ページ「2024年3月期 連結業績予想」及び20ページ「2023年3月期実績説明と2024年3月期業績予想の前提」で数値の誤りがありましたので、訂正を行うものです。

#### 2. 訂正の内容

数値の訂正は以下の通りです。なお、訂正内容は同日に公表しました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」サマリーの「3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)」に記載されていた内容と同値になります。

・売上高(2024年3月期 通期業績予想)

訂正前： 6,500百万円

訂正後： 6,541百万円

・経常利益(2024年3月期 通期業績予想)

訂正前： 164百万円

訂正後： 167百万円

当社ホームページにて訂正後の「2023年3月期 決算説明資料」に差替えをしておりますので詳細はそちらをご参照ください。

URL：<https://foodison.jp/ir/library/presentation/>

資料上の訂正箇所は別紙をご参照ください。訂正箇所は赤い四角で囲んでおります。

以 上

(別紙)

(1) 19 ページ「2024年3月期 連結業績予想」

【訂正前】

## 2024年3月期 連結業績予想

業績予想

- 2024年3月期は、売上高 65億円、売上総利益 23.7億円、営業利益 1.6億円を計画
- 新FFC開設では前テナントより設備を譲受することから、特別利益0.4億円を計上

	2023年3月期		2024年3月期		
	(百万円)	実績	業績予想	前年度比	前年度比 (%)
売上高		5,279	6,500	+1,221	+23.1%
売上総利益		1,895	2,369	+474	+25.0%
売上総利益率		35.9%	36.2%	+0.3pts	-
営業利益		136	164	+28	+20.1%
営業利益率		2.6%	2.5%	-0.1pts	-
経常利益		139	165	+26	+18.7%
当期純利益		100	172	+72	+72.0%

19

FOODiSON

【訂正後】

## 2024年3月期 連結業績予想

業績予想

- 2024年3月期は、売上高 65億円、売上総利益 23.7億円、営業利益 1.6億円を計画
- 新FFC開設では前テナントより設備を譲受することから、特別利益0.4億円を計上

	2023年3月期		2024年3月期		
	(百万円)	実績	業績予想	前年度比	前年度比 (%)
売上高		5,279	6,541	+1,262	+23.9%
売上総利益		1,895	2,369	+474	+25.0%
売上総利益率		35.9%	36.2%	+0.3pts	-
営業利益		136	164	+28	+20.1%
営業利益率		2.6%	2.5%	-0.1pts	-
経常利益		139	167	+28	+19.8%
当期純利益		100	172	+72	+72.0%

19

FOODiSON

(2) 20 ページ「2023年3月期実績説明と2024年3月期業績予想の前提」

【訂正前】

業績予想

## 2023年3月期実績説明と2024年3月期業績予想の前提

- 新FFC開設に伴う費用増加により固定費が増加するため営業利益率は横ばいを見込む
- 中長期的な成長を加速するために、広告宣伝費と採用教育費の増加を計上
- FY22はHRサービスの人員採用が遅れたため成長率は限定的だったが、FY23は一定の成長率を見込むため、売上総利益率は+0.3pts改善の想定

(百万円)	2023年3月期		2024年3月期	
	実績 (前年度比)	説明	業績予想 (前年度比)	前提
売上高	5,279 (+46.9%)	(+) BtoB 成長 +15億円	6,500 (+23.1%)	(+) BtoB 成長 +10億円
営業利益	136 (-)	(+) 広告宣伝費支出 -0.2pts (-) 増資に伴う租税公課増 20百万円	164 (+20.1%)	(+) 人件費効率拡大 (-) 広告宣伝費支出 +0.2pts (-) 採用教育費増加 (-) 新FFC開設費・運転費 (-) 減価償却費増加
その他	-	(-) 営業外費用 IPO関連 14百万円 (+) 法人税等調整額 16百万円	-	(+) 特別利益 FFC開設時設備の譲受益 41百万円
市場環境				コロナ禍が収束し、安定的な需要が見込めるものと想定

20

FOODISON

【訂正後】

業績予想

## 2023年3月期実績説明と2024年3月期業績予想の前提

- 新FFC開設に伴う費用増加により固定費が増加するため営業利益率は横ばいを見込む
- 中長期的な成長を加速するために、広告宣伝費と採用教育費の増加を計上
- FY22はHRサービスの人員採用が遅れたため成長率は限定的だったが、FY23は一定の成長率を見込むため、売上総利益率は+0.3pts改善の想定

(百万円)	2023年3月期		2024年3月期	
	実績 (前年度比)	説明	業績予想 (前年度比)	前提
売上高	5,279 (+46.9%)	(+) BtoB 成長 +15億円	6,541 (+23.9%)	(+) BtoB 成長 +10億円
営業利益	136 (-)	(+) 広告宣伝費支出 -0.2pts (-) 増資に伴う租税公課増 20百万円	164 (+20.1%)	(+) 人件費効率拡大 (-) 広告宣伝費支出 +0.2pts (-) 採用教育費増加 (-) 新FFC開設費・運転費 (-) 減価償却費増加
その他	-	(-) 営業外費用 IPO関連 14百万円 (+) 法人税等調整額 16百万円	-	(+) 特別利益 FFC開設時設備の譲受益 41百万円
市場環境				コロナ禍が収束し、安定的な需要が見込めるものと想定

20

FOODISON